

和歌山大学 2024年度入学式 式辞



和歌山大学に入学された、1,175名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。和歌山大学を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、門出となるこの日を心待ちにしてこられた新入生のご家族やご関係の皆さまにおかれましても、さらにご多用のところ皆さんの門出となるこの式にご臨席をたまわりました来賓の方々におかれましても、心よりお慶びとお礼を申し上げます。

さて、皆さんは今日、大学生という新たなスタートラインに立ちました。大学とは、自らの力で飛躍させていく学びの場です。大学で得られるものは専門の知識や技能にとどまりません。社会の要請を感じ取るセンサーや、実践的な経験、論理的な思考、幅広い教養など、多岐にわたります。

今日、皆さんの学びの旅が輝かしいものとなりますように私から二つのお願いがあります。それは、大学生活すべてにおいて本音で語り、楽しさや苦勞を共にし、笑ったり、泣いたり、感情を共感できる仲間をつくっていただきたいということです。そして、もうひとつは、周囲の仲間の声なき声にも耳を傾けて欲しいということです。こういった経験を繰り返していくことで培われていく「思いやりの心」こそが、いま、そしてこれからの社会が希求している「豊かな人間性、そしてコミュニケーション能力」そのものであると私は考えています。

皆さんが入学された和歌山大学は、教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部、そして社会インフォマティクス学環の四学部一学環からなる大きな総合大学です。学生総数は学部と大学院を合わせ約4,500名が学んでいます。和歌山大学での学びを志す皆さんが、「大学とは何をするといいのかなのか、そして何をすべきなのか」という問いに対して、私たちはこのように答えたいと思います。

大学の責務は「教育」、すなわち人材の育成です。私たちは、和歌山大学での学びを志す皆さんを鍛え、社会に送り出す責任があります。そのために、私たちは明確なビジョンと戦略をもって4年間に及ぶ体系的な教育課程を編成しています。また、和歌山大学には世界に向けられた学び、社会を創る学び、そして地域での学びなど、皆さんのさまざまな学びを支援する仕組みを設けています。これらが四学部一学環の学びと組み合わせることによって、皆さんの学びの成果をさらに実感できると確信しています。

そして、大学での学びは教室や研究室のなかにとどまりません。先に述べた「豊かな人間性、そしてコミュニケーション能力」が大学生活のなかで最も養われる環境は、スポーツや文化活動などのクラブ・サークル活動です。たとえば和歌山大学には体育会が28団体、文化部連合会が17団体、公認サークルが39団体と、様々なグループが活発に活動しています。それぞれが活動の理念を全うし、長年にわたって伝統を継承し続けている活動母体が数多くあります。是非、仲間と一緒に精一杯活動し、大学生活を充実させてください。特に異なる専門職を目指す人たちが、同じ目的で知恵と力を結集し、新たに躍進していくさまは素晴らしいことであり、必要不可欠な取り組みだと思います。先輩・後輩・同期の仲間たちと一緒に新たな人間関係を構築してください。他者を尊重し、自身の感情をコントロールし、チームワークを高め、謙虚なリーダーシップ、そして「思いやりの心」を身につけてほしい、皆さんならきっとできると私は信じています。

和歌山大学は、豊かな自然環境と世界文化遺産に恵まれた和歌山県唯一の国立大学として、地域社会とともに地域の発展に寄与し、地域を牽引する人材育成を目指しています。そのなかで和歌山大学は、「未来を切り拓く知の舞台」というキャッチフレーズを前面に掲げ、学問の力を通じて社会への貢献を追求することを目指しています。皆さんが和歌山大学で過ごす日々は、その舞台の一部であり、知識と経験を積み重ねる過程で、自己の可能性を探求し、成長してください。これからの未来への航海においても、その知識と経験、仲間、人脈を活かし、新たな地平を未来に向けて切り拓いていく舞台が用意されています。思いっきり羽ばたいてください。

さらに和歌山大学は、「学びと well-being の調和」を掲げています。これは、現代社会において非常に重要なテーマであり、皆さんが一生涯、健やかで充実した人生を送るための基盤です。

学びと well-being の両面を大切にすることで、自分自身を成長させ、人生の喜びと充実を感じる
ことができるようになるでしょう。その充実こそが、自分自身と周囲の多くの人々への喜びと感
動をもたらすことになるはずです。

さて、アルベルト・アインシュタインの言葉に、「学べば学ぶほど、自分が何も知らないことに
気づく」とあります。知識の深みに驚き、常に謙虚な姿勢で学びに挑むことが、真の学問の精神
です。これから皆さんが得る学びは、あなたにとって最も貴重な財産となります。学問の道は時
に険しいものがありますが、困難やつまずきは、すなわち前進への階段です。失敗や挫折があっ
ても、それは成長の機会であり、成功への道を切り拓く力となることを肝に銘じてください。

人生の最も重要な決断の一つは、自分自身についての決断であると私は考えます。大学での日々
は自己発見の旅でもあります。自らの価値観や信念を深め、将来の方向性を見出す貴重な機会で
す。困難に直面した際には、自らの内面に向き合い、自己を信じて前進し、そして社会に貢献す
るための力量を身につけていってください。

最後に、私は皆さん一人ひとりの個性とその可能性を最大限に尊重し、これからも皆さんとの
対話と共感をさらに深めていきたいと考えています。

困難な状況の先に広がる輝かしい未来に向かって、そして対話の精神と思いやりの心をもって、
ともに歩んでいきましょう。

皆さんの学びの旅が輝かしいものとなりますように願っています。

ようこそ、未来を切り拓く知の舞台、和歌山大学へ。

以上をもちまして、新入生の皆さんの今後の飛躍を期待して式辞といたします。

2024年4月4日

和歌山大学 第18代学長 本山 貢